

ブレイクアウトで「乗れる人」と「乗れない人」の決定的な違い

勇気や才能ではない。相場の「見方」を変えるだけでトレードは劇的に変わる。



「あの時入ってれば...」 なぜ私たちは指をくわえて見てしまうのか？



ブレイクアウト発生！相場はスルスル伸びる。
ある人は乗っているが、自分は眺めているだけ。
「いや〜、あれは怖くて入れなかったわ...」

実はこれ、勇気や才能の差ではない。
「相場の見方」が違うだけ。

145.00円で「高すぎる」と見送った後、相場は149.00円まで上昇。
「高い」と思っていた場所が、実は一番安かったというオチ。



入れない人は「価格」を見ている。入れる人は「参加者」を見ている。



【価格基準の思考】

- 「もうこんな高値じゃ遅い」
- 「一回押してからでいい」

結果：過去のレートと比較して「高い・安い」を判断してしまうため、動けない。



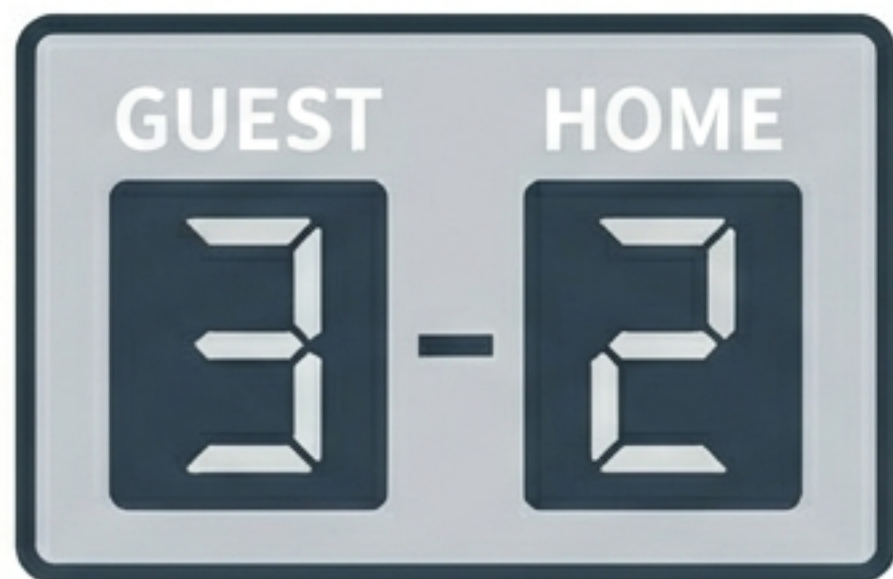
【人間の動きを見る】

- 「今、誰がポジションを持っている？」
- 「誰が困っている？」
- 「誰がまだ買えていない？」

結果：相場は「高いか安い」ではなく、参加者の「欲望と恐怖」で動くことを理解する。

野球で例えるなら、「点数」だけ見ていませんか？

価格だけ見る人



【価格の視点】

「3-2で負けている」という点数（価格）だけを見る。
これではチャンスがわからない。

状況を見る人



【参加者の視点】

「ノーアウト満塁、相手ピッチャーは疲労困憊」という状況（参加者の心理）を見る。
点数が接戦でも、この状況なら「これから大量得点（ブレイクアウト）が入る」ことは予測できる。

相場も同じ。「価格」ではなく「ランナーの配置（ポジション状況）」を見よう。

ブレイクアウトの正体：なぜ「高値」なのに「安全」なのか？

【相場の内部状態】

- ❏ 押し目待ちの人がたくさんいる
(でも落ちてこない)
- ❏ 売りたい人がいない
(怖くて売れない)
- ❏ 利確したい人も
「もっと伸びるかも」と我慢している



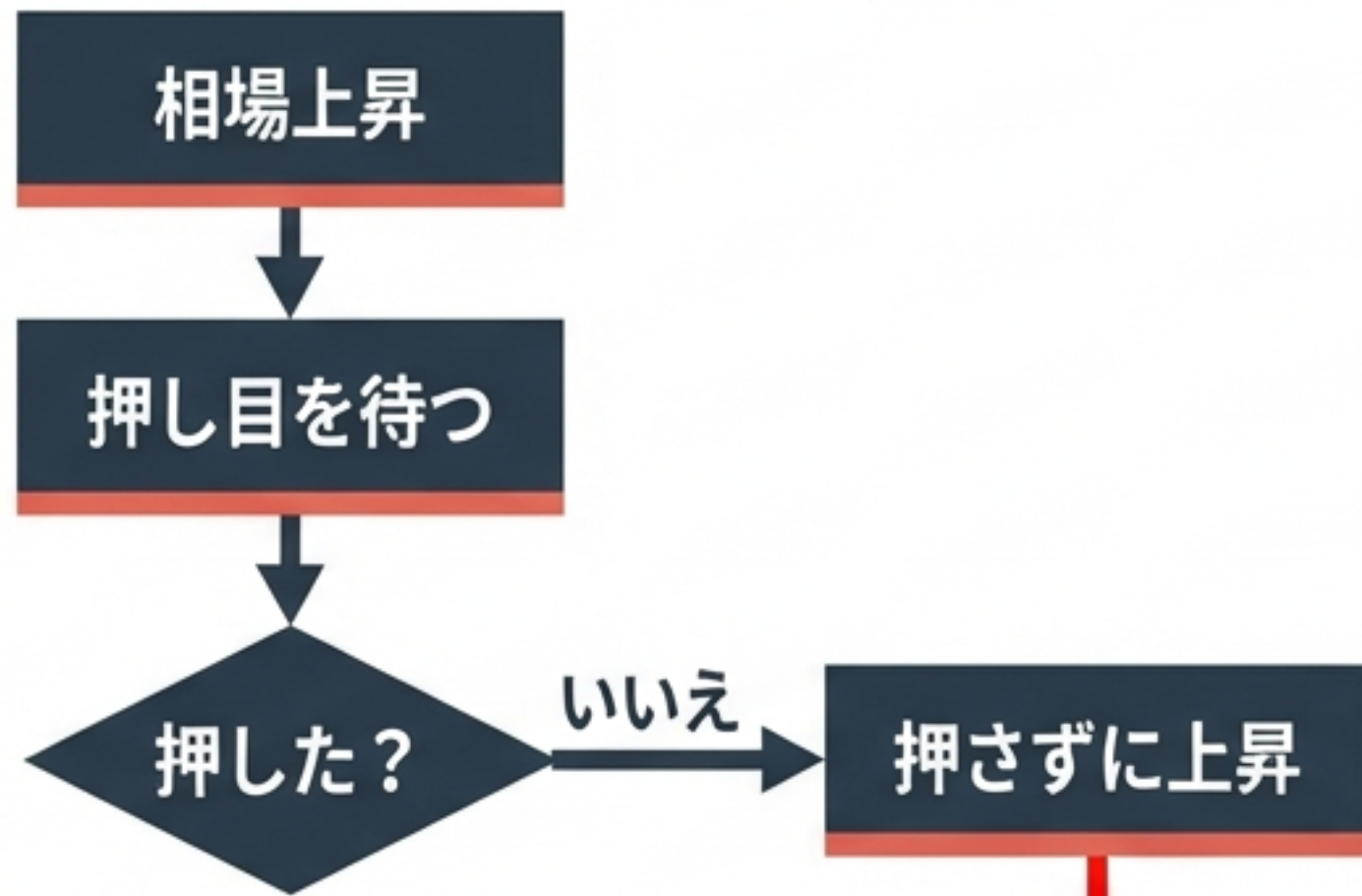
【結果】

誰も売らないから、
価格は止まらない。

ブレイクアウトは
「危険な追っかけ」
ではない。
売り圧力が消滅した
「一番安全な状態」
である。

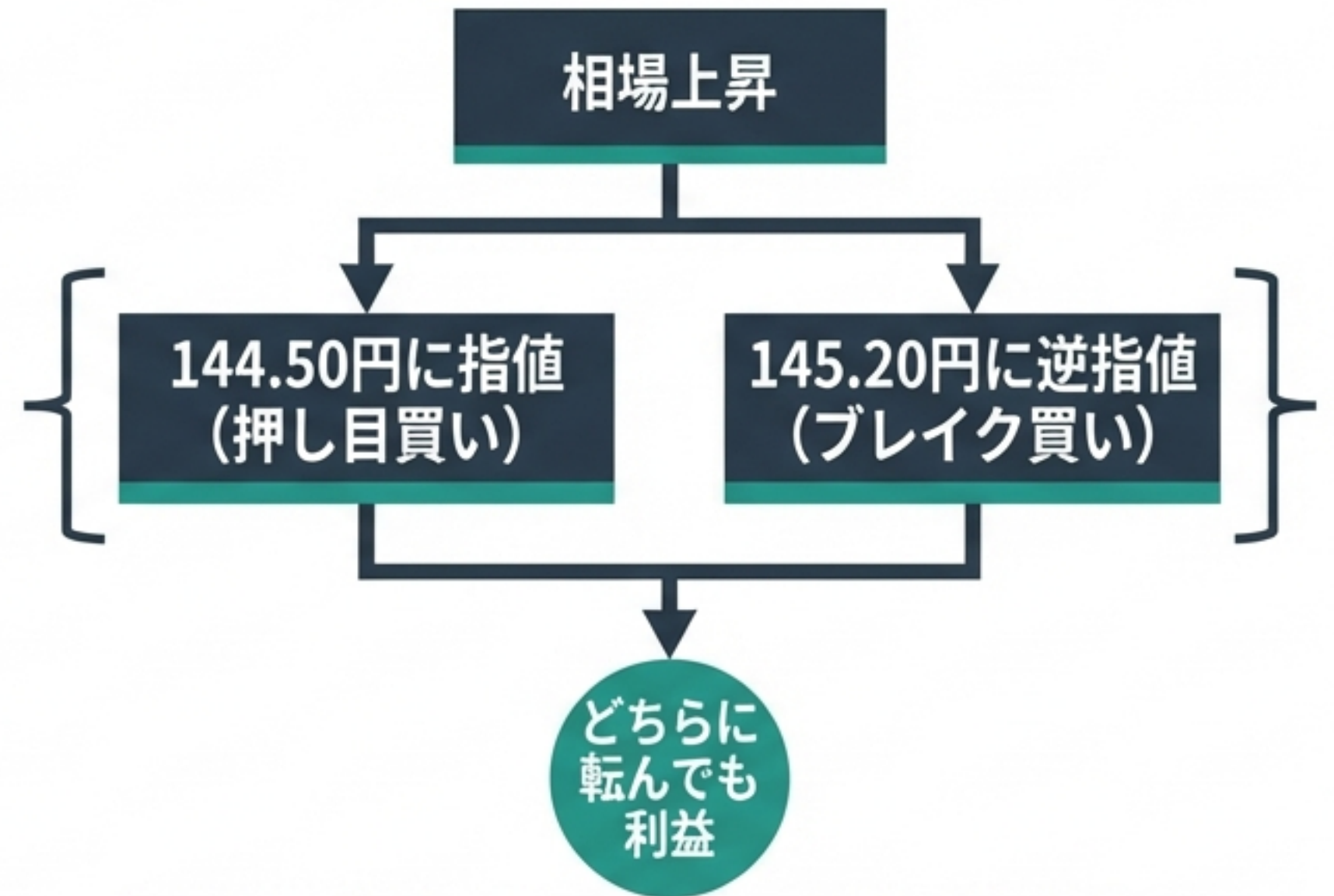
決定的な違い①：待ち方が違う（二段構え）

入れない人



入れない人は条件が一つしかないため、予想が外れると動けない。

入れる人



入れる人は「二段構え」でシナリオを作る。
「押したら買う、抜けたら買う」の分岐点を用意しているかが鍵。

決定的決定的な違い②：損切りの捉え方が違う



損失・失敗



必要経費

【アマチュアの視点】

損切り = 「負け」「失敗」。
だから確実そうな場所まで待ちすぎてしまう。

【プロの視点】

損切り = 「保険料」「チケット代」。
リターンを得るためのコスト。

【計算例】

エントリー：145.20円 / 損切り：144.90円 (-3000円)
利確目標：146.00円 (+8000円)

「3000円損するかも」ではなく、「8000円のリターンを得るために、3000円のチケットを買う」と考える。

決定的な違い③：判断基準が違う



【現実】

教科書通りのきれいな押し目は、みんなが知っているため機能しにくい。逆に「こんな高いところで？」というブレイクの方が、スルスル伸びて利益になる。「正しさ」よりも「有利さ」を選ぼう。

「ダマシ（反転）」が怖いあなたへ

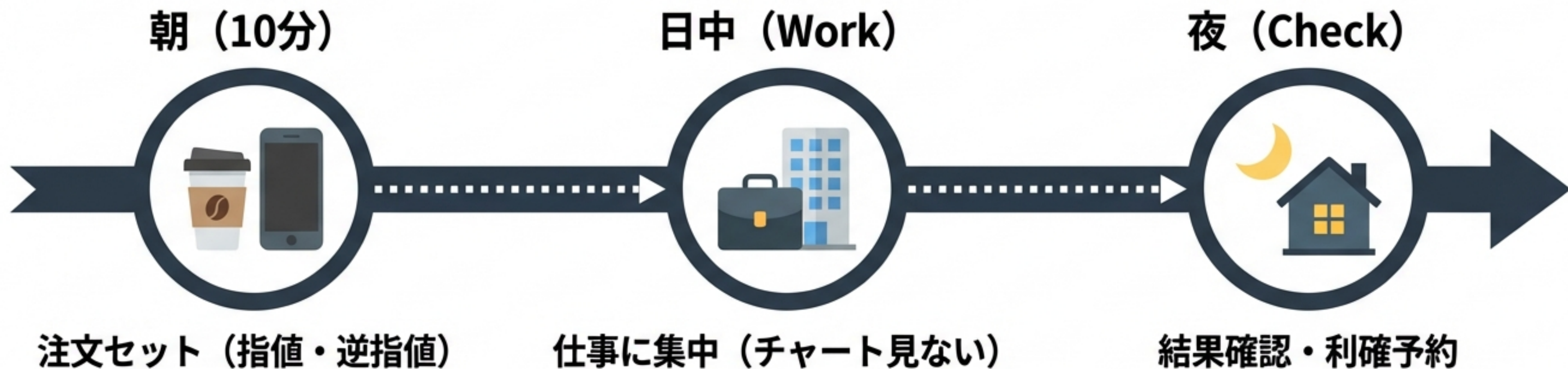
「ブレイクした直後に反転したらどうしよう？」
その恐怖は「ダマシ」ではなく、単に環境認識が不足しているだけ。

【ブレイクが成功する3つの条件】

- ✓ 1. 長期足でトレンドが出ているか？
- ✓ 2. レンジ内ではなく、高値/安値を更新する動きか？
- ✓ 3. トレンド中の出来事か？

この条件が揃っていれば、ブレイクは「メンタルに一番優しい」トレードになる。

忙しい会社員こそ「ブレイクアウト」を狙うべき理由



【古いやり方】
仕事中にこっそりチャートを見て、
押し目を待つ（ストレス大・見逃す）。

【ブレイクアウト戦略】
事前に注文を置いて放置する「設計」のトレード。
生活を壊さずに、利益を積み上げることができる。

ブレイクアウトを制する「3つの思考シフト」

視点の転換

「価格」ではなく
「参加者の心理」
を見る。

高いか安いかではなく、
誰が困っているか。

戦略の転換

「待つだけ」では
なく「二段構え」で
準備する。

押し目とブレイク、
両方のシナリオを持つ。

リスクの転換

「失敗」ではなく
「保険料」と
捉える。

リスクリワードの
計算で動く。

ブレイクアウトに乗れる人は勇気があるわけではない。ただ「構造」を理解しているだけだ。

まずは少額から、その「景色」を見てみよう



- いきなり大きな金額を賭ける必要はありません。
- ④ まずは少額で、抵抗なく価格がスルスルと伸びていく「ブレイクアウトの安全性」を体感してください。
- 「あ、意外と安全なんだ」と肌で感じた時、あなたのトレードは劇的に変わります。
- ④ 焦らず、少しずつ試してみよう。一緒に強くなっていこう！